

2013年度 後期		リフレクションペーパー						
学科名	情報学科							
科目名	オブジェクト指向分析設計							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	後期			
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)							
担当者	高橋圭一							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。 ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。 ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。 							
日程と内容	9/18 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、システムの開発（1章） 10/ 2 オブジェクトとクラス（2章） 10/ 9 関係（3章） 10/16 継承（4章） 10/23 委譲（5章） 10/30 システムの表現（ユースケース）（6章） 11/ 6 機能の表現（7章） 11/13 外観の表現（8章） 11/20 補助的な表現（9章） 11/20 システムの拡張（10章） 11/27 抽象と具象（11章） 12/ 4 分析・設計・実装（12章） 12/11 分析・設計・実装（12章） 12/18 分析・設計・実装（12章） 1/15 まとめ 1/22 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	0%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・要求仕様からクラスを抽出できる。：達成した ・関連、継承、委譲などの複数のオブジェクトに基づいた分析・設計・実装ができる。：達成した ・UMLを用いて要求仕様を記述できる。：達成した 							
反省点	前年よりはかなり噛み砕いて説明し、演習も進捗を見ながら丁寧にフォローしたつもりだが、結果的に知識／技術が身に付いたとはいえない結果となった。							
来年度の計画	プログラミングができることを前提として、さらに効率や再利用性を高めるための技術を学ぶのが本科目の要点である。その必要性や必要となる場面をもう少し演習ボリュームを抑えることでポイントを捉えられるように見直す。							
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は7.7であった。昨年度が7.3であり若干上昇した。授業内容が理解できたかが3.5とこちらも前年が3であったところから上昇はした。							
履修登録者数	40名	定期試験受験者数	26名	合格者数	18名	合格率	69%	